

心理劇

THE JAPANESE JOURNAL OF PSYCHODRAMA

第2巻 第1号/平成9年12月1日 Vol. 2, No. 1, December 1997

巻頭言	台利夫	
シンポジウム		
心理劇の現況とこれからの展開		
シンポジスト		
矯正領域から	金城正典	1
精神科領域から	熊谷雅之	4
福祉領域から	楠峰光	6
教育領域から	小宮健	11
指定討論	増野肇	13
原 著		
守護天使の方法	増野肇	15
-サイコドラマティストの訓練として-		
中学校学級集団における「心理劇」導入の意義	香山哲哉	25
-相互発達援助関係の形成に向けて-		
心理劇場面における慢性精神分裂病者の役割体験	武藤のぞみ	37
-シェアリング表現の分析から-		
心理劇の場面構造と演者、観客の意識的体験	針塚進	49
-心理劇の体験的現実性の視点から-		
岡嶋一郎		
実践報告		
短大生の友情-心理劇ゼミ実践からの報告-	浅野恵美子	61
	神戸美絵子	
サイコドラマ・ワークショップに関する研究	滝沢広忠	69
-参加者を対象としたアンケート調査の結果から-		
論文レビュー	茨木博子	79
情 報		
諸外国におけるサイコドラマの現状について	磯田雄二郎	82
日本集団精神療学会第14回大会に参加して	金子賢	84
アメリカ心理劇学会第55回大会印象記	高良聖	85
会 報		88

THE JAPANESE JOURNAL OF PSYCHODRAMA

Vol. 2 No. 1/December 1997

CONTENTS

Introductory Remarks	Toshio UTENA
Symposium	
Present State and Future Prospect of Psychodrama	
From a Correctional area	Masanori KINJO ... 1
From a psychiatric area	Masayuki KUMAGAYA ... 4
From an area of Social Welfare	Minemitsu KUSUNOKI ... 6
From an Educational area	Takeshi KOMIYA ... 11
Commentaries	Hajime MASHINO ... 13
Articles	
The Guardian Angel	Hajime MASHINO ... 15
–As a Training Method of Psychodramatists–	
The Meaning of Introducing Psychodrama to Junior High School Students	Tetsuya KOYAMA ... 25
–Creating Mutual Development Support Relationships–	Morihiro OKADA Yasuko MUTO
A Study of Role Experience in psychodrama among Schizophrenic Person ...	Nozomi MUTO ... 37
–Analysis of Verbal Expression at Sharing Stage–	
Relationship between the experiences of protagonists	Susumu HARIZUKA ... 49
and audiences in psychodrama	Ichirou OKAJIMA
–from the viewpoint of the experiential reality of psychodrama–	
Practice studies	
Friendship Problems of Junior College Students	Emiko ASANO ... 61
–Two Actual Cases in a Volunteer Psychodrama Group–	Mieko KANBE
A Study of Psychodrama Workshops	Hirohata TAKIZAWA ... 69
–From the Results of a Questionnaire Survey of Participants in Workshops–	
Book Reviews	79
Information	82
Announcement	88

Edited and Published by

JAPAN PSYCHODRAMA ASSOCIATION

(c/o The Institute for the Science of Relationship, 13-9-501 Sakuragaoka-cho, Shibuya-ku, Tokyo, 150, JAPAN)

President : Hajime MASHINO

Editor : Yasuko MUTO

Editorial Committee : Hiroko IBARAGI (Sugano Clinic)

Masamichi KAWAHATA (Yokohama City Univ.) ; Munetsugu TODO (Yamazaki Mental Hospital)

Hajime MASHINO (Japan Women's Univ.) ; Susumu HARIZUKA (Kyusyu Univ.)

Yasuko MUTO (Yokohama National Univ.)

執筆要項

1. 論文の内容は未公開のものに限る。事例提示の場合には、そのプライバシーに関し著者が責任をもって十分配慮すること。
2. 論文の長さは、原則として原著は表と図、写真を合せてB 5判（20×20字）用紙40枚まで、資料は30枚までとし、それを超える場合は実費を投稿者の負担とする。
3. 原稿は横書きで、原則として常用漢字・現代かなづかいを用い、数字は算用数字を用いること。表と図、写真は必要最小限にして別紙に書き、本文中にその挿入箇所を明示すること。
4. 投稿論文の冒頭には、本文とは別に表題、著者名、所属機関名並びにその英訳を記す。また、英文アブストラクト（200語以内）およびその日本語訳を必要とし、英語で5項目以内のキー・ワードをつけること。英文は英語の専門家の校閲を経ていること。
5. 外国人名、地名に原語を用いる以外には、記述中の外国語になるべく訳語をつけること。
6. 引用文献には本文の最後に著者名のアルファベット順に一括して記載し、本文中では、著者名（発行年）で引用すること。
 - a) 文献の記述形式は、雑誌の場合は、著者名、公刊年度（西暦）、論題、誌名、巻（ゴチック）、号、記載頁の順序による。単行本の場合は、著者名、発行年度（西暦）、書名、発行所とする。ただし、編者と担当執筆者の異なる単行本の場合は、該当執筆者名を筆頭にあげ、以下発行年度、編者名、書名、発行所の順とする。
 - b) 同一著者で2種以上の文献がある場合には発行年度順とし、さらに同年度に同一人の2種以上の文献がある場合には1990 a、1990 bのように区別して記載すること。
7. 校正は、初校を著者、再校以降は編集部で行う。
8. 原著、資料論文については、執筆者に別刷20部を贈呈する。それ以上は執筆者の負担とする。
9. 本誌に掲載された論文の原稿は、原則として返還しない。
10. 投稿に際しては、投稿原稿とは別にコピーを2部必ず添えて、書留便として送付すること。

編集委員

茨木 博子 川幡 政道 藤堂 宗継 針塚 進
増野 肇 武藤 安子* (*編集担当常任理事)
David Gough (英文校閲)

編集規定

1. 本誌は日本心理劇学会の機関誌として年1巻発行する。
2. 本誌は、原則として本学会会員の心理劇に関する論文の発表にあてる。
ただし、非会員からの投稿論文で本学会に寄与するものは、掲載が認められることもある。
3. 本誌には、特集、原著、資料のほか、書評、会報などの欄をもうける。
4. 特集、書評欄は、原則として編集委員会の指定した依頼原稿によって構成する。
5. 原著論文は、未公刊の心理劇とその関連分野に関する理論的ならびに臨床的研究論文とする。
6. 資料は、未公刊の事例・調査・実践等を報告する論文とする。
7. 投稿論文は、編集委員会によって審査され、その掲載の可否が決定される。
なお、編集委員会は、会員もしくは会員外に審査協力を依頼することがある。審査協力者の氏名は、「編集協力委員」として公示する。
8. 本誌の編集は、編集委員会の責任のもとに行われる。
9. 原稿の印刷に特に費用を要するものは、執筆者の負担とする。
10. 本誌に掲載された論文を無断で複製および転載することを禁ずる。

心 理 劇 第 2 巻 第 1 号

1997 (平成 9) 年 12 月 1 日 発行

編 集 日本心理劇学会編集委員会

発 行 日本心理劇学会

〒150 東京都渋谷区桜丘13-9-501

関係学研究所気付

FAX 03-3770-4850

印 刷 共進印刷株式会社

〒233 横浜市港南区港南3-5-30
